

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	小石川ここわ保育園
法人名	株式会社ディアローク
法人所在地	東京都渋谷区渋谷3-8-12 渋谷第一生命ビルディング7階

1. 活動のテーマ

<テーマ>

当園では「ここわの教育」を実施しており、園児に対して養護と共に教育も行っています。「ここわの教育」には英語や運動、リトミック、食育、もじすうじなどのプログラムがありますが、今回は外国人講師が使う英語に注目し、園児たちがその言葉に興味を持っているのではないかと考えました。そのため、普段使っている日本語を含めて、「ことば」をテーマに設定しました。

<テーマの設定理由>

当園は開園以来、外国人英語講師が週2日来園し、英語で子どもたちと接してきました。レッスンでは保育者も生徒として園児と一緒にレッスンを受け、園児に寄り添ってきました。このように当園では、英語が園児にとって身近な興味となっていることから英語のみならず、普段話している日本語も含めて「ことば」をテーマとして設定しました。

2. 活動スケジュール

【問いかけ】4歳クラスでは、保育者がことばについて問いかけました。「私たちが話していることばは、何ということばか知っている？」「私たちが話していることばは、どんな人でも話していると思う？」「私たちが話していることば以外で聞いたことがあることばって何かある？」子どもたちは、「フランキー先生は、英語しか話せないんだよ。日本語は話せないんだよ。」と、日本語と英語ということばがあることは知っているようです。

【流れ】英語講師の来園日には、英語絵本の読み聞かせなどを行い、保育者は子どもたちと一緒に参加します。また自由遊びの時間に保育者が日本語絵本の読み聞かせをする際、英語講師は子どもたちと一緒に参加します。このように、子どもも大人も一緒に英語と日本語ということばを共有します。発話が難しい乳児クラスでも日本語、英語の音で聴くことでことばを共有します。

【探究活動の実践と記録】英語活動の際には保育者が記録し、日本語活動の際には保育者とともに英語講師も記録し、特に子どもが英語を発している際のことばや音の聞き分けを担当しました。

* 読み聞かせ：0-5歳児クラス

* 歌：2-4歳児クラス

* 手遊び歌：3-5歳児クラス

【振り返りや共有】毎月月末に英語講師と職員のブリーフィングをおこなっているので、そこで探究活動の共有を行い、次月の問いを考え環境設定や探究活動のスケジュールを話し合います。保育者同士は職員会議で振り返りや共有を行います。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【環境設定】英語講師の来園日に探究活動を行うよう環境を設定しました。

【素材】

* 同じ作者の日本語と英語の絵本：エリックカールの「はらぺこあおむし」と"The very hungry caterpillar"、
「げつようびはなにたべる」と"Today is Monday"

* 同じ手遊び歌の日本語バージョンと英語バージョン：「グーチョキパーでなにつくろう」と
"Rock scissors paper finger play"

* 同じメロディの日本語の歌と英語の歌：「きらきらぼし」と"twinkle twinkle little star"



4-①. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>①「はらぺこあおむし」日本語絵本の読み聞かせ

* 0-5歳児クラス：保育者が日本語の絵本「はらぺこあおむし」を読み聞かせました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

日本語のはらぺこあおむしの絵本は音楽もあるので0歳児クラスの子どもたちにも馴染みのあるお話でした。少し長いお話ですが、乳児は音楽や歌が入ることで楽しめていました。幼児クラスは数や果物、繰り返しのフレーズを楽しんでおり一緒に口ずさむ姿が見られました。

4-①. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>①"The very hungry caterpillar（はらぺこあおむし）"英語絵本の読み聞かせ

* 1-5 歳児クラス：英語講師が"The very hungry caterpillar"を読み聞かせました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

乳児クラスは知っている単語を発していました。幼児クラスでは大好きな絵本ということもあり、内容を理解し集中して見ていました。馴染みのある単語が出てくると「ice cream」「butterfly」とまねして発言する姿も見られました。生き生きした表情になり日本語と英語で言葉を発していました。



5-①. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】今回は日本語絵本を先に読み子どもには話の流れがわかっていたので、英語絵本を見せても流れがわかっている様子だった。子ども達にとって言語の違いより絵本の絵に集中していた。次に出てくるのは何かワクワクしている様子が伝わってページをめくるたびに反応し知っている単語を手で表現し楽しんでいた。英語の本を先に読んだら子どもたちの反応は変わってくるのだろうか？

【次回への問い】英語絵本を先に読んでも子どもたちは話の流れがわかり楽しめるのだろうか？

4 -②. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>②"Today is Monday(げつようびはなにたべる)"英語絵本の読み聞かせ

* 3-5歳児クラス：英語講師が"Today is Monday"の絵本を読み聞かせました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

（活動の内容、活動中）「Today is Monday」の読み聞かせは最初は静かに集中して聞いていました。何度か繰り返すと骨付きチキンを見て、「足が見えてる」などの言葉を発するようになり、だんだんと講師の言う英語の言葉を復唱する姿が見られてきました。講師からの英語の問いかけに英語で答える姿もありました。



4 -②. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>②「げつようびはなにたべる」日本語絵本の読み聞かせ

* 3-5歳児クラス：保育者が「月ようびは何食べる？」の絵本を読み聞かせました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

英語で繰り返し読んでいた絵本だったので日本語で読み聞かせた際も内容をよく覚えていました。英語レッスンで教えてもらった単語を尋ねると、恐る恐る答える姿もありました。また、英語で読み聞かせした時と同じ場面では日本語で絵本の状況を話していました。



5 -②. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】日々の保育の中で読み聞かせており、音楽絵本ということで楽しんで見ることが多い教材でした。日本語でも英語でもくり返すことで耳に入り、またメロディがあることで口ずさんでできるので子ども達にも抵抗感が薄かったように感じました。絵本なので耳と視覚から情報を得られ、小さな子どもたちには有効だと感じました。

【次回への問い】絵本ではなく、素材を変えて例えば手遊び歌だったら子どもたちは日本語でも英語でも同じように楽しめるのだろうか？

4-③. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>③「ぐーちょきぱーでなにつくろう」日本語で手遊び歌を歌う

* 3-5 歳児クラス：保育者が「ぐーちょきぱーでなにつくろう」の手遊びをしました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

日本語で普段から行っている手遊びだったので子どもたちは元気に一緒に歌ってくれました。英語の曲が流れると「知ってる」という答えも帰ってきました。日本語ではなじみがあり、英語の曲が流れて「知ってる」という反応を示した後、講師の手を見ながら「ピノキオだ」などと予想したり、カニや、ライオン等を手で表現すると「チョッキン」や「ガオー」と擬音を発していた。

4-③. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>③"Rock scissors paper finger play(ぐーちょきぱーでなにつくろう)"英語で手遊び歌を歌う

* クラス：3-5歳児クラス英語講師が"Rock scissors paper "の手遊びをしました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

日本語でもなじみのある「グーチョキパーでなにつくろう」を英語で行っても講師の真似をして手を動かしながら上手に行っていました。英語の曲が流れると「知ってる」という答えも帰ってきました。日本語ではなじみがあり、英語の曲が流れて「知ってる」という反応を示した後、講師の手を見ながら「ピノキオだ」などと予想したり、カニや、ライオン等を手で表現すると「チョッキン」や「ガオー」と擬音を発していた。



5-③. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】「グー」「チョキ」「パー」等の単語はあまり馴染みがない為まだ発する子は少ないが同じメロディである為なんとなく理解は出来ている様子でした。「グーチョキパー」でできたものは日本語で発する事が多いが、英語講師が英語に訳す事で簡単な単語は真似して発する子もいました。子ども達は手を動かし何かに見立てるということに楽しさを感じていた、想像力や発想力の表現に繋がっている。

【次回への問い】年度初め英語の時間に習った馴染みがあるといえる"Twinkle twinkle little star"を日本語で歌うことで子どもたちはどのように反応するのだろうか？

4 -④. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>④「きらきらぼし」日本語で歌を歌う

* 1-2 歳児クラス：保育者が朝の会などで歌いました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

よく耳にする馴染みのある歌なので、手のひらをキラキラさせて元気よく歌っていました。

4 -④. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>④"Twinkle twinkle little star(きらきらぼし)"英語で歌を歌う

* 0-2歳児クラス：英語講師がTwinkle twinkle little starの歌を歌いました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

日本語でもなじみのある「きらきらぼし」を英語で歌い、英語講師の真似をして身振り手振りをしたり歌詞を知っている児は口ずさんだりしていました。保育者も一緒に歌い、集中が途切れている児には興味を持てるように個別で声を掛けてみました。2歳児が歌う姿をじっと眺めていて、手を上に挙げてキラキラとジェスチャーを楽しみ、なんとなく歌を口ずさんでいる姿がみられました。



5 -④. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】子どもたちは日本語と英語の区別を保育者が考えているほどしていないことに気づいた。英語の先生は英語しか話せないと知っていても日本語で話しかけたり、しかし英語講師が英語で話しかけても理解して日本語で応答していてことばの垣根がそれほどないように見られた。講師とコミュニケーションを取る時表情をよくみていたり口の動きをじっと観察し声には出さないが子ども達の口がわずかに動き何か習得しているように感じるがあった。

【次回への問い】英語講師も週2回ほとんど終日園にいますので、英語を話す保育者と、子どもは見ている可能性がある。別の外国人英語講師が来園して、違う英語を話すことで子どもたちはどのような反応をするのだろうか？